

「ベジメニュー」の推進

ヴィア・グループでは、ベジミートをはじめ、野菜を使ったおいしいメニューを積極的に開発し、おすすめしています。

「ベジメニュー」は、地球を救います。

「地球温暖化」の原因となっている「温室効果ガス」のなかで、家畜が出すメタンや二酸化炭素(CO2)も、少なからず影響を及ぼしていると言われています。お肉の食事を1食減らして、それを野菜の食事にしたときに、約500gのCO2が削減できるという(国連の)試算もあります。

「ベジメニュー」は、健康維持につながります。

厚生労働省が「健康日本21」で推奨する1日の野菜摂取量は、350g。不足しがちな栄養素や食物繊維を摂取することは、さまざまな病気の予防につながります。



ベジミートの酢豚
ベジミートとは、畑のお肉といわれる「大豆」で作ったお肉です。

「ベジメニュー」は、飢餓を救います。

このマークのメニューをご注文いただくと、1品につき10円を、社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通して、アフリカの子どもたちに食事代として寄付いたします。

アフリカの子どもたちの1食は、約20円で賄うことができます。10円は、子どもたちにとって命をつなぐためのとても大きなお金なのです。ヴィア・グループでは、年間100万食を子どもたちに届けることを目標にしています。ぜひ、皆様のご協力をお願いいたします。



「お持ち帰り」のおすすめ

「もったいない」は、地球を救います。

豊かな国は、必要以上の食糧を世界中から輸入し、膨大な量の食糧を廃棄しています。食べきれないお料理をお持ち帰りいただくことは、廃棄に関わるCO2排出やコストを減少させるとともに、余計な食物購入を抑えることにつながります。

ご注意：店舗では、商品の安全には万全を期しておりますが、食べきれないお料理の「お持ち帰り」商品につきましては、「自己責任」にてお召し上がりいただきますよう、お願い申し上げます。



「お持ち帰り」紙バッグ
1枚 50円(税込)

「お持ち帰り」の紙バッグをご購入いただくと、1枚につき10円を、社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンを通して、アフリカの子どもたちに食事代として寄付いたします。

環境問題

環境省「チャレンジ25キャンペーン」HPより抜粋

進む「地球温暖化」

地球の平均気温は、この100年で0.74℃高くなっています。温暖化により、世界中でさまざまな異常気象が多発し、多くの被害が出ています。また、万年雪や北極の氷がどんどん溶けており、海水面の平均水位が、20世紀の間に17cmも上昇しています。

原因は「温室効果ガス」の増加

地球温暖化の原因は、大気中に含まれる温室効果ガス、特に二酸化炭素(CO2)の増加にあります。大気中のCO2は、産業革命までの1万年間は280ppmで安定していました。それが産業革命以降の200年ほどの間に約380ppmに達しています。これだけ短時間で急速に変化したことは、地球の歴史のなかで一度もありません。

いま地球では・・・

温暖化をもとに戻すには、数100年

温暖化が進むと、食糧不足や病気が増える心配があります。また、地球の平均気温が1.5～2.5℃以上上がると、生物の20～30%は地球上から姿を消すと言われてしています。一方で、私たちがCO2を出す量を一気に減らしても、大気中のCO2濃度がもとに戻るまで数100年かかります。温暖化は進めば進むほど、もとに戻すのが難しくなります。

日本のCO2排出量は、世界第4位

世界のCO2排出量の約50%は、世界の人口の20%しかいない先進国の人たちが出しています。排出量が多い国は、1位がアメリカ、2位が中国、3位がロシア、4位が日本、5位がインドとなっています。エネルギーをより多く使う先進国がより多くのCO2を排出する一方、温暖化の影響を最初に受けるのは、発展途上国の人たちなのです。

食糧問題

WFP(国連世界食糧計画)HPより抜粋

世界では7人に1人が飢餓

2007～2008年にかけて、主に食糧価格の高騰が原因で、1億1500万人もの人が新たに飢餓に陥りました。現在、世界の飢餓人口は10億人近くにまで上っています。世界の全人口のうち、およそ7人に1人が飢えているということになります。その上、金融危機が拍車をかけ、飢餓人口は今後さらに増えると見られています。

6秒に1人の子どもが・・・

世界では、飢餓やそれに関連する病気のため、毎日2万5000人が命を落としています。そのうち、5歳以下の子どもは1万4000人を占めます。時間に直すと、6秒に1人、子どもが飢えを原因として命を落としています。子どもの飢餓は身体的・知的発達の遅れにつながり、さらにその子どもが住む国の経済に大きな損失をもたらします。